

平成 2 8 年度

大網白里市決算審査意見書

公 営 企 業 会 計

(ガス事業・病院事業)

大網白里市監査委員

監 第 209 号
平成29年8月16日

大網白里市長 金坂 昌典 様

大網白里市監査委員 大島 有紀子
同 花澤 房義

平成28年度大網白里市公営企業会計決算審査の意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、審議に付された平成28年度大網白里市公営企業会計（ガス事業会計・病院事業会計）の決算について審査した結果、次のとおり意見を付して提出する。

— 目 次 —

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1

【ガス事業会計】

1	経営状況について	2
(1)	経営成績について	2
2	審査状況について	2
(1)	概況	2
(2)	収益的収入及び支出	3
(3)	資本的収入及び支出	4
(4)	損益計算書比較表	5
(5)	貸借対照表比較表	6
	むすび	7

【病院事業会計】

1	経営状況について	8
(1)	経営成績について	8
2	審査状況について	8
(1)	概況	8
(2)	収益的収入及び支出	9
(3)	資本的収入及び支出	10
(4)	損益計算書比較表	11
(5)	貸借対照表比較表	12
	むすび	13

※ 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

※ 負数は「△」で表示した。

平成２８年度大網白里市公営企業会計決算審査意見

第１ 審査の対象

平成２８年度大網白里市ガス事業会計決算

平成２８年度大網白里市病院事業会計決算

第２ 審査の期間

平成２９年７月１日から平成２９年７月２８日まで

第３ 審査の方法

決算書、その他関係諸表等の確認と予算の執行及び事業の経営、管理が適性かつ有効に運営されているか検証するため、関係諸帳簿、証書類、資料等について、確認を行い審査した。

第４ 審査の結果

審査に付された平成２８年度大網白里市公営企業会計（ガス事業会計・病院事業会計）の決算諸表は、地方公営企業法、同施行規則の規定に基づいて作成され、財政状況及び経営成績を適正に表示しているものと認めた。

【ガス事業会計】

1 経営状況について

(1) 経営成績について

当年度ガス事業会計においては総収益693,138,423円に対し、総費用680,493,422円で、純利益は12,645,001円となっている。

経営状況の過去3カ年にわたる実績を比較すると次表のとおりである。

(単位：円)

年度 区分	26年度	27年度	28年度
総収益	723,956,172	676,373,189	693,138,423
総費用	674,348,698	664,278,089	680,493,422
純利益	49,607,474	12,095,100	12,645,001

2 審査状況について

(1) 概況

ガス事業内容を過去3カ年にわたり比較すると次表のとおりである。

年度 区分	26年度	27年度	前年度比 (%)	28年度	前年度比 (%)
年度末供給戸数 (戸)	11,298	11,394	100.8	11,552	101.4
供給ガス量 (m ³)	7,499,059	7,223,182	96.3	7,278,712	100.8
ガス購入量 (m ³)	7,322,166	7,012,776	95.8	7,118,104	101.5
1ヶ月平均供給ガス量 (m ³)	624,922	601,932	96.3	606,559	100.8

事業内容を見ると、年度末供給戸数は11,552戸で、前年度より158戸の増加となっている。

供給ガス量は7,278,712m³で、前年度と比較して55,530m³の増となっており、1ヶ月平均供給ガス量は606,559m³となっている。

勘定外ガスについては、△163,990m³である。

(2) 収益的収入及び支出

収入

(単位：円)

区分 \ 年度	予算現額		決算額		予算対決算増減	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
ガス事業収益	759,684,000	772,769,000	744,096,200	725,671,202	△ 15,587,800	△ 47,097,798
製品売上	653,265,000	661,540,000	639,001,094	630,527,149	△ 14,263,906	△ 31,012,851
営業雑収益	54,395,000	52,320,000	49,152,785	36,417,400	△ 5,242,215	△ 15,902,600
営業外収益	52,024,000	58,909,000	55,942,321	58,726,593	3,918,321	△ 182,407
特別利益	0	0	0	60	0	60

支出

(単位：円)

区分 \ 年度	予算現額		決算額		不用額	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
ガス事業費用	750,391,000	747,044,000	727,633,206	705,338,244	22,757,794	41,705,756
売上原価	342,863,000	346,045,000	325,001,578	318,543,706	17,861,422	27,501,294
供給販売費及び一般管理費	350,866,000	341,570,000	346,115,353	341,113,786	4,750,647	456,214
その他営業費用	44,290,000	47,746,000	44,145,448	33,192,853	144,552	14,553,147
営業外費用	12,372,000	10,689,000	12,370,827	10,687,096	1,173	1,904
特別損失	0	0	0	1,800,803	0	△ 1,800,803
予備費	0	994,000	0	0	0	994,000

収益的収入の主なものは製品売上（ガス売上）で、前年度決算額630,527,149円に対し当年度決算額639,001,094円で8,473,945円の増加であり、仮受消費税及び地方消費税47,275,713円が含まれているので実質決算額は591,725,381円である。

営業雑収益は、前年度決算額36,417,400円に対し当年度決算額49,152,785円で、12,735,385円の増加であり、仮受消費税及び地方消費税3,639,921円が含まれているので、実質決算額は45,512,864円（うち受注工事収益は43,450,166円）である。

営業外収益は、前年度決算額58,726,593円に対し当年度決算額55,942,321円で、2,784,272円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税42,143円が含まれているので、実質決算額は55,900,178円（うち雑収益は2,118,618円）である。

特別利益は、前年度決算額60円に対し当年度決算額0円で、皆減であり、仮受消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額も0円である。

収益的支出の主なものは売上原価、供給販売費及び一般管理費で、前年度決算額659,657,492円に対し当年度決算額671,116,931円で、11,459,439円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税33,624,643円が含まれているので実質決算額は637,492,288円である。

その他営業費用は、前年度決算額33,192,853円に対し当年度決算額44,145,448円で、10,952,595円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税2,915,837円が含まれているので、実質決算額は41,229,611円である。

営業外費用は、前年度決算額10,687,096円に対し当年度決算額12,370,827円で、1,683,731円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税は10,599,304円が含まれているので、実質決算額は1,771,523円である。

特別損失は、前年度決算額1,800,803円に対し当年度決算額0円で、皆減であり、仮払消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額も0円である。

(3) 資本的収入及び支出

収入

(単位：円)

区分 \ 年度	予算現額		決算額		予算対決算増減	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
資本的収入	58,863,000	5,814,000	50,364,310	12,859,957	△ 8,498,690	7,045,957
負 担 金	58,863,000	5,814,000	50,364,310	12,859,957	△ 8,498,690	7,045,957

支出

(単位：円)

区分 \ 年度	予算現額		決算額		翌年度繰越額	不用額
	28年度	27年度	28年度	27年度		
資本的支出	181,286,000	167,023,200	130,506,070	152,258,027	26,784,000	23,995,930
建設改良費	154,268,000	136,987,200	111,488,289	130,222,746	26,784,000	15,995,711
企業債償還金	19,018,000	22,036,000	19,017,781	22,035,281	0	219
予備費	8,000,000	8,000,000	0	0	0	8,000,000

資本的収入は、前年度決算額12,859,957円に対し当年度決算額は50,364,310円で、37,504,353円の増加であり、仮受消費税及び地方消費税3,555,134円が含まれているので実質決算額は46,809,176円である。

資本的支出は、前年度決算額152,258,027円に対し当年度決算額は130,506,070円で、21,751,957円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税7,373,127円が含まれているので実質決算額は123,132,943円で、翌年度繰越額は26,784,000円である。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額106,925,760円は、過年度分損益勘定留保資金66,848,303円、当年度分消費税資本的収支調整額3,817,993円、減債積立金19,000,000円及び当年度分損益勘定留保資金17,259,464円で補てんする。

(4) 損益計算書比較表

(単位：円)

科目 \ 年度	28年度	27年度	増減額
1 営業収益	637,238,245	617,676,128	19,562,117
(1) ガス売上	591,725,381	583,879,268	7,846,113
(2) 受注工事収益	43,450,166	31,592,380	11,857,786
(3) 器具販売収益	8,350	29,920	△ 21,570
(4) その他営業雑収益	2,054,348	2,174,560	△ 120,212
2 営業費用	678,721,899	660,219,380	18,502,519
(1) ガス売上原価	300,916,224	294,928,585	5,987,639
(2) 供給販売費及び一般管理費	336,576,064	334,207,862	2,368,202
(3) 受注工事費用	41,224,361	31,060,813	10,163,548
(4) 器具販売費用	5,250	22,120	△ 16,870
営業利益	△ 41,483,654	△ 42,543,252	1,059,598
3 営業外収益	55,900,178	58,697,001	△ 2,796,823
(1) 有価証券利息（受取利息）	3,100,000	3,100,000	0
(2) 長期前受金戻入	50,681,560	53,330,257	△ 2,648,697
(3) 雑収益	2,118,618	2,266,744	△ 148,126
4 営業外費用	1,771,523	2,257,906	△ 486,383
(1) 企業債利息	1,766,613	2,252,845	△ 486,232
(2) 雑支出	4,910	5,061	△ 151
経常利益	12,645,001	13,895,843	△ 1,250,842
5 特別利益	0	60	△ 60
(1) 過年度損益修正益	0	60	△ 60
6 特別損失	0	1,800,803	△ 1,800,803
(1) 過年度損益修正損	0	1,800,803	△ 1,800,803
(2) その他特別損失	0	0	0
当年度純利益	12,645,001	12,095,100	549,901

営業収益637,238,245円の主なものは、ガス売上591,725,381円（92.86%）、受注工事収益43,450,166円（6.82%）である。

営業費用678,721,899円の主なものは、ガス売上原価300,916,224円（44.34%）、供給販売費及び一般管理費336,576,064円（49.59%）である。

営業外収益55,900,178円の主なものは、長期前受金戻入50,681,560円（90.66%）である。

営業外費用1,771,523円の主なものは、企業債利息1,766,613円（99.72%）である。

特別利益及び特別損失は、ともに0円である。

(5) 貸借対照表比較表

(単位：円)

区分 \ 年度	資 産 の 部		
	2 8 年度	2 7 年度	増減額
固定資産	1,707,815,961	1,715,095,475	△ 7,279,514
流動資産	485,086,645	476,986,850	8,099,795
計	2,192,902,606	2,192,082,325	820,281

区分 \ 年度	負 債 ・ 資 本 の 部		
	2 8 年度	2 7 年度	増減額
固定負債	109,597,144	144,785,996	△ 35,188,852
流動負債	172,169,952	144,933,436	27,236,516
繰延収益	678,580,381	682,452,765	△ 3,872,384
資 本 金	747,403,472	705,703,472	41,700,000
剰 余 金	485,151,657	514,206,656	△ 29,054,999
計	2,192,902,606	2,192,082,325	820,281

貸借対照表の前年度との比較は上表のとおりであり、資産合計は2,192,902,606円で、前年度と比較して820,281円の増加である。

固定資産構成比率 (固定資産÷資産合計×100) = 77.88%

流動資産485,086,645円の内訳は、現金預金402,132,559円、売掛金29,152,494円、貸倒引当金△134,762円、未収金49,594,306円、貯蔵品2,430,550円、製品1,911,498円であり、前年度と比較して8,099,795円の増加である。

流動負債172,169,952円の内訳は、企業債19,343,747円、買掛金43,651,109円、未払金69,291,306円、前受金30,834,362円、引当金6,899,428円、その他流動負債2,150,000円であり前年度と比較して27,236,516円の増加である。

流動比率を見ると次のとおりである。

流動比率 (流動資産÷流動負債×100) = 281.75%

負債・資本合計2,192,902,606円に対する自己資本1,232,555,129円(資本金747,403,472円剰余金485,151,657円)の構成比率は次のとおりである。

自己資本構成比率 (自己資本÷負債・資本合計×100) = 56.21%

剰余金485,151,657円の内訳は、資本剰余金43,463,541円(受贈財産評価額999,241円、工事負担金42,464,300円)、利益剰余金441,688,116円(減債積立金22,300,000円、利益積立金53,680,000円、建設改良積立金213,000,000円、災害準備積立金140,000,000円、当年度未処分利益剰余金12,708,116円)である。

《む す び》

ガス事業については、「安定供給」と「保安の確保」そして「経年導管対策事業」に注力し、経営の効率化を基本的な理念とした事業運営を進めており、昨年と比較して既設供給区域内の需要家は158戸増加し、販売実績も0.77%増加している。

その経営状況は、税抜きで総収益6億9,313万8千円（前年度6億7,637万3千円）、総費用6億8,049万3千円（前年度6億6,427万8千円）であり、差し引き1,264万5千円（前年度1,209万5千円）の純利益となっている。

今後も、平成29年4月に策定した将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な基本計画である「大網白里市ガス事業経営戦略」に基づいて、経営の効率化及び健全化に努められたい。

【病院事業会計】

1 経営状況について

(1) 経営成績について

当年度病院事業会計においては、総収益2,365,025,444円に対し、総費用2,388,669,033円で、純損失は23,643,589円となっている。

経営状況の過去3カ年にわたる実績を比較すると、次表のとおりである。

(単位：円)

年度 区分	26年度	27年度	28年度
総収益	2,209,192,872	2,327,897,367	2,365,025,444
総費用	2,310,376,622	2,329,038,604	2,388,669,033
純利益	△ 101,183,750	△ 1,141,237	△ 23,643,589

2 審査状況について

(1) 概況

病院事業内容を過去3カ年にわたり比較すると次表のとおりである。

年度 区分	26年度	27年度	前年度比 (%)	28年度	前年度比 (%)
入院患者数 (人)	27,059	27,626	102.1	28,831	104.4
外来患者数 (人)	64,198	64,015	99.7	63,419	99.1
計	91,257	91,641	100.4	92,250	100.7

事業内容を見ると、患者数計は92,250人で前年度に対し609人増（入院患者数1,205人増、外来患者数596人減）となっている。

(2) 収益的収入及び支出

収入

(単位：円)

年度 区分	予算現額		決算額		予算対決算増減	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
病院事業収益	2,375,369,000	2,343,463,000	2,371,052,456	2,333,077,317	△ 4,316,544	△ 10,385,683
医業収益	2,110,730,000	2,203,595,000	2,102,627,074	2,193,980,087	△ 8,102,926	△ 9,614,913
医業外収益	264,636,000	139,865,000	268,425,382	139,097,230	3,789,382	△ 767,770
特別収益	3,000	3,000	0	0	△ 3,000	△ 3,000

支出

(単位：円)

年度 区分	予算現額		決算額		不用額	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
病院事業費用	2,414,789,000	2,370,712,000	2,387,969,889	2,330,015,746	26,819,111	40,696,254
医業費用	2,369,387,000	2,322,032,000	2,347,823,455	2,286,827,409	21,563,545	35,204,591
医業外費用	40,399,000	43,678,000	40,146,434	43,188,337	252,566	489,663
特別損失	3,000	2,000	0	0	3,000	2,000
予備費	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000	5,000,000

収益的収入の主なものは医業収益（入院収益、外来収益、市繰出金等）で、前年度決算額2,193,980,087円に対し当年度決算額2,102,627,074円で91,353,013円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税5,355,192円が含まれているので実質決算額は2,097,271,882円である。

医業外収益は、前年度決算額139,097,230円に対し当年度決算額268,425,382円で、129,328,152円の増加であり、仮受消費税及び地方消費税671,820円が含まれているので、実質決算額は267,753,562円である。

収益的支出の主なものは医業費用で、前年度決算額2,286,827,409円に対し当年度決算額2,347,823,455円で、60,996,046円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税81,097,823円が含まれているので実質決算額は2,266,725,632円である。

医業外費用は、前年度決算額43,188,337円に対し当年度決算額40,146,434円で、3,041,903円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は40,146,434円である。

特別損失は、前年同様、当年度決算額は0円である。

(3) 資本的収入及び支出

収入

(単位：円)

区分 \ 年度	予算現額		決算額		予算対決算増減	
	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
資本的収入	143,060,000	65,004,000	142,237,000	65,000,000	△ 823,000	△ 4,000
出資金	71,237,000	65,000,000	71,237,000	65,000,000	0	0
補助金	2,000	2,000		0	△ 2,000	△ 2,000
繰入金	0	0		0	0	0
寄付金	1,000	1,000		0	△ 1,000	△ 1,000
企業債	71,820,000	1,000	71,000,000	0	△ 820,000	△ 1,000

支出

(単位：円)

区分 \ 年度	予算現額		決算額		翌年度繰越額	不用額
	28年度	27年度	28年度	27年度		
資本的支出	192,983,000	154,244,000	184,065,456	149,407,533	0	8,917,544
建設改良費	94,720,000	61,574,000	90,803,116	56,737,908	0	3,916,884
企業債償還金	93,263,000	92,670,000	93,262,340	92,669,625	0	660
予備費	5,000,000	0	0	0	0	5,000,000

資本的収入は、前年度決算額65,000,000円に対し当年度決算額は142,237,000円で、77,237,000円の増加であり、仮受消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は142,237,000円である。

資本的支出は、前年度決算額149,407,533円に対し当年度決算額は184,065,456円で、34,657,923円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税6,726,156円が含まれているので、実質決算額は177,339,300円である。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額41,828,456円は、当年度分損益勘定留保資金41,828,456円をもって補填する。

(4) 損益計算書比較表

(単位：円)

科目 \ 年度	28年度	27年度	増減額
1 医業収益	2,097,271,882	2,189,262,815	△ 91,990,933
（１）入院収益	1,156,782,122	1,194,729,654	△ 37,947,532
（２）外来収益	768,807,072	794,573,615	△ 25,766,543
（３）その他医業収益	171,682,688	199,959,546	△ 28,276,858
2 医業費用	2,266,725,632	2,206,879,742	59,845,890
（１）給与費	1,173,941,267	1,119,054,079	54,887,188
（２）材料費	674,717,962	688,404,907	△ 13,686,945
（３）経費	332,199,127	322,613,145	9,585,982
（４）減価償却費	69,851,963	64,745,712	5,106,251
（５）資産減耗費	5,532,000	260,000	5,272,000
（６）研究研修費	2,083,313	2,201,899	△ 118,586
（７）看護師養成費	8,400,000	9,600,000	△ 1,200,000
医業利益	△ 169,453,750	△ 17,616,927	△ 151,836,823
3 医業外収益	267,753,562	138,634,552	129,119,010
（１）受取利息及び配当金	0	0	0
（２）補助金	128,112,500	80,439,500	47,673,000
（３）一般会計負担金	108,744,000	26,948,000	81,796,000
（４）長期前受金戻入	20,126,577	23,363,127	△ 3,236,550
（５）その他医業外収益	10,770,485	7,883,925	2,886,560
4 医業外費用	121,943,401	122,158,862	△ 215,461
（１）支払利息及び企業債取扱諸費	37,116,034	40,425,737	△ 3,309,703
（２）その他医業外費用	84,827,367	81,733,125	3,094,242
経常利益	△ 23,643,589	△ 1,141,237	△ 22,502,352
5 特別損失	0	0	0
（１）臨時損失	0	0	0
当年度純利益	△ 23,643,589	△ 1,141,237	△ 22,502,352

当年度の損益計算書は、総収益（医業収益＋医業外収益）2,365,025,444円、総費用（医業費用＋医業外費用）2,388,669,033円で、23,643,589円の純損失となっている。

総収益の内訳は、入院及び外来収益1,925,589,194円（構成比81.42%）、その他医業収益171,682,688円（7.26%）、医業外収益267,753,562円〔補助金128,112,500円、一般会計負担金108,744,000円、長期前受金戻入20,126,577円、その他医業外収益10,770,485円〕である。

総費用の内訳は、医業費用2,266,725,632円〔給与費1,173,941,267円、材料費674,717,962円、経費332,199,127円、減価償却費69,851,963円、資産減耗費5,532,000円、研究研修費2,083,313円、看護師養成費8,400,000円〕、医業外費用121,943,401円〔支払利息及び企業債取扱諸費37,116,034円、その他医業外費用84,827,367円〕である。

(5) 貸借対照表比較表

(単位：円)

年度 区分	資 産 の 部		
	2 8 年度	2 7 年度	増減額
固定資産	1, 361, 927, 449	1, 353, 234, 452	8, 692, 997
流動資産	460, 013, 726	400, 561, 086	59, 452, 640
計	1, 821, 941, 175	1, 753, 795, 538	68, 145, 637

年度 区分	負 債 ・ 資 本 の 部		
	2 8 年度	2 7 年度	増減額
固定負債	930, 499, 180	956, 186, 479	△ 25, 687, 299
流動負債	356, 985, 168	290, 619, 066	66, 366, 102
繰延収益	324, 757, 124	304, 734, 701	20, 022, 423
資 本 金	2, 334, 587, 831	2, 303, 499, 831	31, 088, 000
剰 余 金	△ 2, 124, 888, 128	△ 2, 101, 244, 539	△ 23, 643, 589
計	1, 821, 941, 175	1, 753, 795, 538	68, 145, 637

貸借対照表の前年度との比較は上表のとおりであり、資産合計は1,821,941,175円で、前年度と比較して68,145,637円の増加である。

固定資産構成比率 (固定資産÷資産合計×100) = 74.75%

流動資産460,013,726円の内訳は、現金預金126,932,284円、未収金307,247,352円、有価証券19,880円、貯蔵品25,814,210円で、前年度と比較して59,452,640円の増加である。

流動負債356,985,168円の内訳は、企業債96,687,299円、未払金206,785,869円、賞与等引当金53,512,000円であり、前年度と比較して66,366,102円の増加である。

繰延収益324,757,124円の内訳は、長期前受金783,019,250円、長期前受金収益化累計額△458,262,126円であり、前年度と比較して20,022,423円の増加である。

流動比率を見ると、次のとおりである。

流動比率 (流動資産÷流動負債×100) = 128.86%

負債・資本合計1,821,941,175円に対する自己資本209,699,703円(資本金2,334,587,831円、剰余金△2,124,888,128円)の構成比率は次のとおりである。

自己資本構成比率 (自己資本÷負債・資本合計×100) = 11.51%

剰余金△2,124,888,128円の内訳は、資本剰余金13,142,875円(国県補助金292,875円、寄付金12,850,000円)、利益剰余金△2,138,031,003円(減債積立金37,000,000円、当年度末処分利益剰余金△2,175,031,003円)である。

《む す び》

大網病院については、「心のこもった笑顔で、わかりやすく納得のいく医療」を基本理念として、患者に対し良質で安全な医療を提供するために医師、看護師等の確保・育成に努めている。

また、地域の中核病院としても、救急・癌治療などの急性期医療から生活習慣病などの慢性期医療まで幅広い医療を展開している。

その経営状況は、税抜きで総収益23億6,502万5千円（前年度23億2,789万8千円）、総費用23億8,866万9千円（前年度23億2,903万9千円）であり、差し引き2,364万4千円の純損失（前年度114万1千円の純損失）となっている。

診療状況の前年度対比については、入院患者数は4.4%増えたが、外来患者数は0.9%減少している。また、入院収益及び外来収益はともに3.2%減少している。

当病院では、平成28年度に利用者サービスの一環として、会計待ち表示システムの導入や外来者数を増やすため胃がんリスク検診（ABC検診）を行うなど、効率的かつ持続的な病院運営に努めており、引き続き「大網病院新改革プラン」に基づいて質の高い医療の提供と病院経営の安定化に向け努力されたい。